



まくべこ

わたしたちのまち

(昭和58年12月1日現在)
 人口 21,622 (+11)
 男 10,676 (+10)
 女 10,946 (+1)
 世帯数 6,465 (+10)

—人のうごき (11月中)—
 転入 78人 転出 83人
 出生 29人 死亡 13人

||||||| 生きる喜びを創造するまち・幕別町 (新総合振興計画) |||||



母・妻・孫が ねずみ年です

明けましておめでとうございます。牧野利夫さん(栄)のお宅は8人の大家族ですが、そのうち3人(前列左から梅子さん59歳、ミネさん83歳、志のぶちゃん11歳)がねずみ年生まれです。皆さんも今年が良い年でありますようにお祈り申し上げます。

59年

1

No. 384

別対談 き今こそ

林 照男町長に聞く
聞き手：長谷川敦子さん



住民との合意を大切にしながら

長谷川 新年あけましておめでとうございます。

町長 おめでとうございます。

長谷川 わたくし、今年成人式を迎えるんですが、町長さんと対談できることをうれしく思っています。昨年五月、町長に就任以来二年目を迎えますが、振り返ってみて昨年はどんな年でしたでしょうか。

町長 選挙で選ばれるようになってから、三人目の町長に就任しましたが、春以来の異常気象によりたいへんな年でしたね。また、町の台所が厳しい環境になってきていますし、選挙に明けて選挙に暮れた年と印象を深くしています。町議会、町民のご協力があり計画した仕事は、ほとんど終わり、年を過ごすことができました。

町長 はい、町づくりについては、住民の皆さんの知恵を集めて、作



長谷川 国も緊縮予算と聞いていますが、本町にはどのように影響してきますでしょうか。

町長 町の仕事は、町だけのお金で、できるものは少ないんです。国からもらう補助金などで経営されていますから、苦しくなります。

町長 町づくりは役場(行政)だけでなく、そこに住む人たち自身が、

自分たちの町を、どうつくって行ったら良いか考えてもらい、町づくりに参加をしていただくことが大事だと思っています。町民による明野ヶ丘公園の芝桜の植栽、私の声を町長に送る句間」の設定などが、町づくりの主人公として、参加をしていただいた「例」と思っています。

町長 そうですね。冷害に負けない土地をつくる必要がありますから、土地基盤整備、地力の増進強化、機械利用の共同化と効率化を図ることが必要と思っています。

町長 厳しいなかですが懸案事項を進めます。農業の基盤整備、工業団地などの造成、第二札内中(仮称)の建設、第二札内橋の早期着手を関係機関にお願いすることなどです。試練の時代ですから、住民の合意を大切にしながら、明るい希望のある年にしたいと思っています。

町長 はい、そのことは、幕別の経済に活性化をもたせる上では、大事なことだと思います。稲志別、明野地区に工業団地の造成計画を持っています。ここに農産品に付加価値を高めるような企業を誘致して、住民が働く場所を確保できるように努力したい。

町長 そうですね。冷害に負けない土地をつくる必要がありますから、土地基盤整備、地力の増進強化、機械利用の共同化と効率化を図ることが必要と思っています。

町長 厳しいなかですが懸案事項を進めます。農業の基盤整備、工業団地などの造成、第二札内中(仮称)の建設、第二札内橋の早期着手を関係機関にお願いすることなどです。試練の時代ですから、住民の合意を大切にしながら、明るい希望のある年にしたいと思っています。

町長 はい、そのことは、幕別の経済に活性化をもたせる上では、大事なことだと思います。稲志別、明野地区に工業団地の造成計画を持っています。ここに農産品に付加価値を高めるような企業を誘致して、住民が働く場所を確保できるように努力したい。



町長 そうですね。冷害に負けない土地をつくる必要がありますから、土地基盤整備、地力の増進強化、機械利用の共同化と効率化を図ることが必要と思っています。

町長 そうですね。冷害に負けない土地をつくる必要がありますから、土地基盤整備、地力の増進強化、機械利用の共同化と効率化を図ることが必要と思っています。

- 長谷川敦子さん(左)
- 札内農協勤務
- 日新五
- 昭和三十八年四月二十一日生まれの新成人
- 趣味 スポーツ(テニス、スキー)



山崎長一議長に聞く
聞き手……林 恵子さん

新春の特 試練のと

創意工夫とゆずり合いの精神で

林 あけましておめでとうござい
ます。わたくし、今年も年女になり
ますので、この機会にふだんあま
り理解していない、町議会の仕組
みについて、勉強させていただき
たいと思いますのでよろしくお願
い致します。

議長 新年おめでとうございます。
昨年は、不況、冷害の暗いムード
のなか、選挙で終わりました。今年
こそは、良い年であってほしいと
願っております。

林 最初に、簡単に言うと言議と
はどんなところでしょうか。

議長 手短に言いますと、二万二千
六百人の町民が一堂に集って相談
できませんので、選挙で選ばれた
人が、住民の代表となって構成し
ているのが議会です。この議会で
条例や予算等、町の重要なことが、
審議され決定されます。

林 議会の定数は、現在二十六名
と聞いておりますが、法律的には
どうなんでしょうか。

議長 人口に応じて、定数が決め
られています。幕別町は、三十人が
定数ですが、昭和五十七年三月の
議会で二十六名と決めました。

林 減少しても議会活動に、影響
はないでしょうか。

議長 法定人口の二万人から、二千
六百人ほど超えただけです。今
の行政規模ですと二十六名で充分

住民の意見を反映できると思いま
す。

林 議会の権限というのは、どの
ようなことでしょうか。

議長 一つは、議決権があります。
町長には、提案権と執行権はあ
りますが、議決権はありません。

二つ目は、町づくり(行政)が適
正に行われているか、監視する役
目があります。

林 議長の仕事には、どういうも
のがありますか。

議長 たくさんありますが、議会
の閉会・議事の整理・議会の秩序
保持・議会を代表・議会事務をま
とめるなどがあります。

林 議会の招集は、どのようにし
て行われますか。

議長 招集するのは、町長の仕事
です。議会は、議員定数の半数以上

の議員が、出席しなければ開くこ
とができません。

林 議会は、年にどのくらい開か
れるのでしょうか。

議長 議会には、定例会と臨時会



があります。定例会は、年に四回
(三月・六月・九月・十二月)と定
められています。臨時会は、必要の
都度招集されます。

林 本会議、また委員会というの
はどういうものですか。

議長 議会が合理的な活動をする
ために、議会の内部に委員会が設
けられています。各議員は、いづれ
かの委員会に所属することになっ
ています。これに対し、議員全員で
行う会議を一般に本会議と言いま
す。

林 委員会には、どんな種類があ
るのでしょうか。

議長 常任委員会と特別委員会と
があります。常任委員会は、常設的
なもので総務・厚生・産業・建設
の四つがあり、特別委員会は、臨時
的なもので審査が終わると消滅し
ます。予算、決算委員会等があり
ます。

林 一般質問とはどういうこと
ですか。

議長 議員が、執行機関(町長)に
対し、町づくり全般について説明
を求めたり、事実、所信を聞きただ
すことです。一般質問は、定例会の



みで、質問内容を議長の定めた期
間内に文書で通告しなければなり
ません。

林 議会の傍聴は、いつでもでき
るのでしょいか。

議長 定例・臨時会を問わず、氏
名等を受付簿に記入すれば、いつ
でも傍聴できます。

林 最後に、明るく豊かな町づく
りをするため、議会としてはどの
ようなことをしていかなければな
らないとお考えですか。また議長
としての今年の抱負をお聞かせく
ださい。

議長 今年は、厳しい町財政とな
ることが予想されますので、議会、
町理事者、町民が知恵を出し合い
創意工夫しての町づくり、また町
民のかたがたには、ゆずり合いの
精神で、町全体が公平に良くなる
ことをご理解してもらい、この際
格別のご協力をいただきたいと思
います。

町民の皆さんが、健康で明るい
年となることを心から期待してお
ります。

林 新年そうそう、貴重なご意見
をいただきありがとうございます。
ますますのご活躍をお祈り申
し上げます。

- 林 恵子さん(主) ● 主婦
- 錦町七〇 ● 昭和二十三年

- 六月三十日生まれの子
- 趣味 手芸・スポーツ ● 子

供たちと体力づくりをしたい

われら...



ねずみ年に寄せて

皆さん、新年あけましておめでとうございます。
昨年は、異常気象による冷害と、選挙の一年間でした。町では、今年も引き続き、皆さんとともに豊かな町づくりに取り組んでまいります。
さて、今年のエト・ねずみ年生まれの人たちに、'84に寄せる抱負をお聞きしました。

明治33年生まれ



黒沼友之助さん
(明倫・農業)

山形イブキがこんなに大きくなって

ここにわね、昭和八年に入植しましたね。わたしが三十二歳の時でした。そりゃ、当時の開墾は大変な苦勞でした。「ちよつと、庭を見てください」そこにある、山形イブキ、紅葉を入植した時に、盆栽で持って来たのが、こんなに大きくなりましたね。
今は、これら庭木の手入れで、毎日楽しんでます。
子供は七人で、孫が十五人いるんですが、昨年は、みんなで広尾方面へ、旅行して来ましたよ。食べ物には、好き嫌いはないね。最近、耳と足が弱くなってきたが、まだまだ、動きたいですね。

野球が好きなんですの、原選手が：

わたくしね、昭和四十六年に、幕別へ参りましたの。主人が学校(清水中学校)を退職する二年前に、この家を建てて、息子が入っていました。
白樺大学の手芸部で、「そこにあるような、花、人形などを作って、ノンビリと楽しんでいきますのよ」。
野球が好きなんです。テレビ中継が始まると、どこか行きたいところがあっても延ばしてしまふんですの。新米さんがいいですね。今のところ、巨人の原選手なんかよろしいですね。ベースボールなども購読してるんですの。体は健康ですから、幸せなことです。

大正元年生まれ



桑谷 禮子さん
(札内あかしゃ町・無職)

二人目の孫が生まれるんです

六年前から、今の会社にお世話になり、車の整備の仕事をしています。なかなか難しいもんです。入社して二年目でしたか、三級整備士の資格を取りました。
子供は、娘が二人なんです。上の娘は、富良野市の西達布へ嫁に行き、今年二月に、二人目の孫が生まれるんです。
下の娘は、昨年十月に、帯広へ嫁ぎました。
そうですね、ふだんは、ちよつとした庭木などをいじっていますね。
「今年の抱負ですか。なんといいっても、健康で働くことが一番じゃないですか」。

大正13年生まれ



森本 正藏さん
(寿町・会社員)



大正13年

新田ベニヤ工場、耐火構造に改築

大正元年

止若特設電話開始

明治33年

依田勉三、途別で開田

花づくりが私に合っています

そうですね、去年は期待していましたが、冷害で残念な年でした。

はい、畑が終つてからは、婦人部の皆さんと、料理とか、花づくりとか、手芸などお勉強したりしていますヨ。これからは、古着やハギレを利用して、何か作ってみようと思っています。

「趣味といっても、何もありませんが、花づくりが、わたしに合いますので、菊やセントポーリアなどを育てたり、春には、野菜づくりと楽しんでいます」。

今年も、農家にとつて良い年であるよう祈っています。

昭和11年生まれ



森 エミ子さん
(美川・主婦)

昭和23年生まれ



松島健二郎さん
(札内青葉町・商業)

子供たちの野球に熱チユーします

兄の経営する、石油スタンドを手伝っていますが、昨年は、不景気で売り上げもダウンしてしまいましたね。今年はどうなるのでしょうか。

子供は、三人ですが男ばかりです。四年生と五年生の二人が、白人小学校で野球をしているんですよ。ええ、私も小学校へ行って教えているんです。自分が野球をするより、子供の野球が楽しみになる年代になったんですね。上の子が、ピッチャーをしています。私が……。家族で旅行することとは、仕事の都合で難しいです。今年も子供たちの野球に、熱チユーします。

もう一人家族が増えるかも……

高校を卒業して、アツという間に五年が過ぎ、もう二十四歳。今は仕事と家庭との両立で四苦八苦の毎日です。

仕事は、町内の企業で事務を担当しています。これまでいろいろな壁にぶつかりましたが、周りの心暖かい人たちに助けられながら、今日まで勤めて来られた気がします。

私、昨年の秋に結婚したばかりで、家庭では時間を有効に使おうと、努力はしているものの今一歩。そんな中での唯一の楽しみは休日なんです。そのうちに、もう一人家族が増えると楽しみも変わるでしょうけど……。

昭和35年生まれ



長尾啓恵さん
(旭町・会社員)

昭和47年生まれ



助川英樹くん
(新和小学校(5年))

僕の夢は乳牛百頭の酪農をすること

昨年の思い出は、九月の全校バス遠足で本別公園に行ったことです。「ハアハア」させながら登ったカムイ岳。展望台から見た本別の町並が、マツチ箱のように小さく見えました。とても楽しかった。

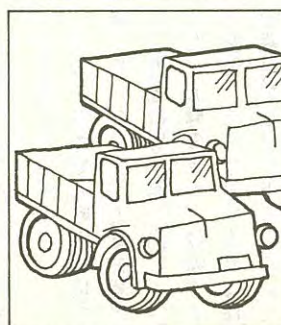
僕は、機械いじりが大好きなので、機械が故障するとお父さんと二人で直します。兄弟は三人で僕は長男だから、大きくなったらお父さんのあとを継ぎたいと考えています。そして、今いる乳牛六十頭を百頭ぐらいに増やして、大規模な酪農をしたいと思っています。今年も六年生になりますので、がんばります。

昭和11年



第11代目・佐々木節村長当選

昭和23年



町役場に初の貨物自動車入る

昭和35年



俳人・榎本鳴海の句碑除幕式

昭和47年



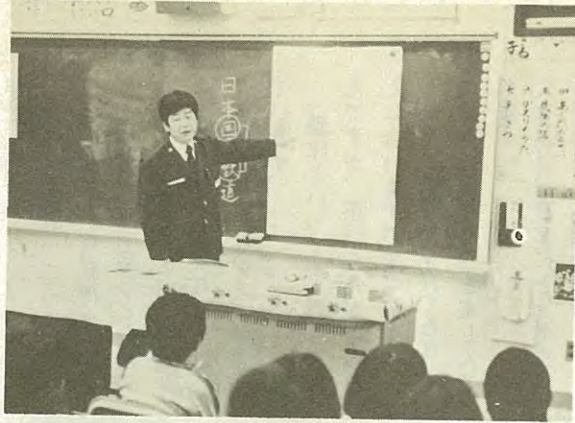
役場庁舎完成



まちの ニュース

▶ 生きた社会科学学習を体験

札内南小では、二年生の社会科学授業に中山利昭さん(札内泉町・国鉄機関士)を迎え、子供たちは、駅で働く人たちの仕事を学びました。



▶ 障害者の福祉向上を願って

第二回ふれあい広場が町民会館で開かれ、約八百人が来場しました。講演、展示即売会、映画を通して、障害者の社会参加について考えました。

▶ 新年カルタ初取会

札内カルタ同好会では、小中学生二十人、一般十五人が参加し、新年カルタ初取会を行いました。子供たちからもカルタは楽しいと好評です。



あなたの周りの のニュースを

このコーナーに地域や学校、個人のニュースを登場させてみませんか。取材にうかがいますので、役場の広報広聴係まで連絡ください。



たわらもえこ
▲ 俵萌子さんが熱っぽく講演
町文化講演会が、町民会館で250人が参加して開かれ、講師の評論家・俵萌子さんは『地域づくりと教育』をテーマに熱弁をふるっていました。

幕別風土記 六

父は内地で大麻を栽培していた経験があったので、その経験を生かし大麻を栽培して、内地の麻工場へ皮を出していました。



幸町 52番地
吉田 周市さん (83歳)

独立したわけでは。

その後、三十五町歩もの土地を借りて、全部で四十町歩の沖積土を耕作していたもんだから、たいへんな百姓でしたよ。奉公人を内地から三人呼んで年じゅう働いてもらったり、夏場は出面の人も大ぜい来てもらっていました。一年の収穫が終わった時には百円を持ってね、帯広の藤丸へ行つて、外とうやコールテンの乗馬ズボンなど身に着けるものを買うんですよ。

私は、栃木県河内郡雀宮村大字上御田(宇都宮市)で父・健三郎の長男として、明治三十三年二月二十八日に生まれました。そして、五歳の時の明治三十八年に祖父母、父母に連れられて猿別市街へ入ったんです。

来た年は働く場所がないし、小作は翌年からしました。当時、内地から来た人は、こんな寒いところで暮らせるもんかと言って、二、三年働いてどんどん帰ったそうですが、内地の農地を売ってきた私たちは、裸で帰るわけにもいかななし、ここへ長く落ち着くようになったんです。

大正四年だったと思うが、たしか黒島さんという人から、相川の土地一戸分(五町歩)と五十坪の土台付き中二階の住宅を千円ちょっとで買って、始めて

ところで、大正十一年の八月には大洪水がありました。その時私たち家族は、消防組の丸木舟で助けられました。家が、家は流され、畑は全滅し、えらい損害でしたわ。

今は息子の世話になって、隠居していますよ。

師走選挙終わる

第三十七回衆議院議員総選挙の投票が、昨年十二月十八日に実施され、同時に最高裁判所の裁判官に対する国民審査も行われました。有権者数は、一万五千五百二十二人で前回(昭和五十五年八月二十二日実施)より一千四十七人増えています。

衆議院議員選挙の投票総数は、一万三千二百二十票で、投票率は八七・八三%になり、前回より三・七五%上回りました。

各候補者の得票数は次のとおりです。



この一票に願いを込めて...

- 二、〇四三 鈴木宗男 無
 - 四、二六八 しんむら 源雄 社
 - 七八 安田 貴六 自
 - 一八〇 北村 義和 自
 - 一〇二 岡田 利春 社
 - 一六二 たけべつとむ 無
 - 四六 島田たくろう 社
 - 四八〇 中川 昭一 自
 - 四〇七 しばた重郎太 共
- 最高裁判所裁判官国民審査の投票

ご紹介ください・東京在住の人

—東京幕別会結成準備—

東京でふるさと幕別の思い出を語ろう——。町では、いま東京(あるいは東京近辺のかたも含む)に在住し、それぞれの立場でご活躍している本町出身者や、勤務の関係で一時的であるが幕別町に居住したことがあるかたなどを対象にして「東京幕別会」の結成準備を進めています。

町民の皆さんのご家族、親せき、知人、隣人などでお心当りのかたがございましたら電話で次によりご紹介ください。

- ◎東京在住者の氏名、住所、勤務先、電話番号(自宅、勤務先)
- ◎連絡先 役場企画財政課 ☎54-2111
- ◎現在、名簿作成中ですので、早めにご紹介くださるようお願い致します。

票総数は、一万三千八十三票で投票率は八六・九二%でした。

なお、裁判官のすべての罷免を可としないもの(白紙票)は八千九百二十六票、全員の罷免を可とするもの(X印票)は一千五百十二票でした。

マスコットができました!!



幕別温泉ホテルでは、右のマスコットの名前を募集しています。

応募期間は二月二十九日まで、詳細は幕別温泉へお問い合わせください。

自衛官を募集

自衛隊では、ただいま国を守る若い力、自衛官を募集しています。募集しているのは、二等陸・海・空士で、希望されるかたは、役場企画財政課へおたずね下さい。

なお、募集の内容は次のとおりです。

- ▽資格・十八歳以上、二十五歳未満の男女
- ▽受付・常時
- ▽試験・毎月
- ▽採用・おおむね毎月

- ▽実質賃金十四万三千六百円(俸給月額一十九万六千二百円プラス現物給与額一四万七千四百円)
- ▽技術教育(車輛・通信・航空機・艦船等)で各種国家免許取得の機会があります。

「寄付ありがとうございました」

町へ:

▽匿名のかたから幕別小学校の特殊学校へ一万円

▽町社会福祉協議会へ……

- ▽匿名のかたから千円二回
- ▽幕別町ゴルフ同好会から二千八百二十七円
- ▽ふれあい広場展示即売会陶芸売上金の中より谷本政儀さん(札内桂町)から千三百円、西村清吉さん(札内新北町)から二千三百円
- ▽山内久子さん(札内桜町)から母が生前お世話になりましたと十万円
- ▽浅見康夫さん(旭町)から十万円
- ▽こだま歌謡愛好会からカラオケ大会チャリティーより五万三千三百六十一円

老人クラブへ:

- ▽松下信義さん(札内新北町)から二万円
- ▽水野清吉さん(宝町)から一万円
- ▽藤田ハマさん(宝町)から五千元
- ▽沢田留治さん(宝町)から輪投げセット
- ▽七島信雄さん(明野)から一万円
- ▽小山義男さん(相川)から一万円
- ▽山内久子さん(札内桜町)から五万円

その他

▽匿名のかたから町交通安全協会へ千円

新町民登場



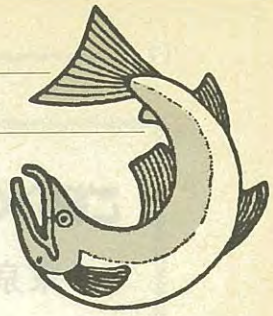
札内青葉町311番地 柏木道彦さん

昨年九月に網走市から来ました。

北大病院に十年、網走厚生病院内科医長として二年の勤務を経て、町の要請をいただき札内で内科医院を開業しております。

雑踏の札幌市に比べて、網走は原生花園、知床の山々に囲まれた風光明媚な街で、魚やエビなどの海の幸がたいへんおいしい所でした。

幕別町に参りまして、帯広市が近く何事にも至便な街、行政、文化、教育、福祉等の施設が充実しており、カラフルな近代的団地の立ち並ぶ、美しい街という印象を受けました。また、ゴルフ場が近く、非常に快晴の日が多いのには驚いています。このように恵まれた環境の中で、町民の皆さまが「健康の保持」のために、少しでもお役に立つよう頑張っていきたいと思っております。



歌次さんの
みやげの

第45回
幕別
ちかぢり
路傍の神
開拓と信仰 ⑩
幕別神社



「ヨイショ、ヨイショ、こは、大きい切り株ばかりで、ほんとうに骨が折れるねえ。」

「当り前だ、これだけたくさん立派な、ナラやドロの木が育った所だから、作物がよく育つんだべ。」

「さすがにここをみつけた歌次さんは、かしこいお人だね。」

「何んでも、最初に入った猿川の東側で、囚人道路の南を開墾している時に、この咩別の辺りが、特別びっしりと木が生えていたの気がついたそうだ。」

「それに、歌次さんときたら、ドサンコ馬のような、あんたと違って五尺八寸(一尺七十八センチ位)もある大きな人だからねえ。」

「おいお前、大急ぎで部落の連中を集めてこい。」

「みんなあ、みんなあ。」

「あなた、かわいそうにたった一人で移民にきた人がいるよ。」

「あなた、あれた、あれた、丸めて歩いていけるからわからなかったあ。」

「あら、ほんとうだあ。背中を、丸めて歩いていけるからわからなかったあ。」

「うわあ、これが神様か。ずいぶん派手な木箱に入っているなあ。」
「滝之宮須佐之男神神霊という

神様を分けてもらったんだ。」「本当にありがたいことだ。これで部落の守り神ができたんだから、ますます開墾に精を出さねばならないぞ。」

「この神様はな、農業の神様で、特に雨の少ない時に雨を降らせてくれる神様だそうだ。」

「ところで、ずいぶんたくさんおみやげを、はるばる持って来たんだなあ。」

「くにの人や、神主さんがとても親切にしてくれてなあ。これが獅子頭、ナギナタとカネ、それに、神楽の面が五つじや。それと、本当は、学問の神様で道真公も分けてもらうつもりだったんじやが、持ちきれないのでこの次にしようと思っただけなあ。」

「それじゃさっそく祠を造って

サーモン通信 ③⑤

町内の小、中学校でサケの飼育と観察を始めて、三年が経ちました。開始した当時は、相川小学校など四校でしたが、現在では、開始時から実施している相川小学校を始め駒島小学校、糠内中学校など十一の小、中学校で、また、愛育園、わかば幼稚園での飼育と観察を、実施しております。

今年から初の試みとして、一般家庭(サーモンファミリー)での飼育と観察を、行っておりますし、町外からの申し込みも年々増え、帯広の啓北小学校、札幌のHTJ本社、旭川の青少年自然観察サークル「グリーンフォーラム旭川」などから寄せられました。



ここに移民へ来るもんが四ないし五軒はいるぞ。そしたら獅子舞も神楽もやるかもしれんぞ。」

「テケテンテンテン、テケテケテンテンテン……」

「お前さん、そんなに歌をふり

神様を納め、今年の秋には、盛大な秋祭りをやるう。」

「それからなあ、くにからまた

- まわしたらあぶないってばあ。」
- 横田歌次咩別に入植。
- 香川県滝之宮神社より分霊。
- 防風林の所から現在地へ移動。
- 昭29 横田歌次咩別に入植。
- 昭30・6 香川県滝之宮神社より分霊。
- 昭12 防風林の所から現在地へ移動。
- 昭56 改築工事の時、屋根裏からお面、カネ、ナギナタ、獅子頭など見つかる。
- 昭58・1 お面里帰り。香川県綾南町より道真公の分霊を授る。
- 昭58・4 春の祭「うそかえ」行事を行う。
- 取材協力 脇坂一也さん 横田与一さん (取材・小助川 勝義)

卒業(新しい旅立ち)の記念に自分たちの手で丹精を込めて飼育した、サケの稚魚を、学校付近の川に放流する学校も増えていきます。そのためか、ふ化する確率も、高くなりほぼ百パーセントになっています。中里小学校では、ふ化から九か月間も淡水での飼育に成功するなど、飼育技術が上達してきます。

今年も、サケのふ化から放流までの飼育と観察を行うことになった、相川小学校、札内南小学校、糠内中学校の生徒の代表が、十二月三日ふるさと館をおとずれ職員がジャンボ水槽から、砂利といっしょにくみ出した卵を、一校およそ二百粒ずつ、ていねいに拾い各自で用意したバケツやビニール袋で持ち帰り、無事ふ化するよう願ひながら水槽に入れ観察を始めました。



温調節や、ろ過方法など飼育上の注意事項を教わり、およそ二十粒の卵を拾い自宅に持ち帰り、あらかじめ用意していた水槽に入れ、ふ化の日を心まちしています。